



# やまと郡山城ホール

YAMATO KORIYAMA JYO HALL

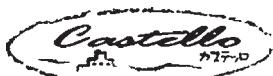
〒639-1160 北郡山町211-3 (☎ 54-8000 FAX 54-8001)

開館時間：9:00～21:30 (受付は20:00まで)

<7月の休館日：7(火)・14(火)・15(水)・21(火)・28(火)>

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット発売場所	未就学児
7/17 (金)	開演 19:00 (開場 18:30) 金曜トークサロン・20回記念 ～マリンバの花を咲かせて～	レセプションホール 全席自由	1,000円 <コーヒーか紅茶付>	発売中 <input checked="" type="checkbox"/>	×
ゲスト：小川順子さん（関西マリンバ協会名誉会長・日本木琴協会理事） 聞き手：松本真理子（マリンバ奏者・市音楽芸術協会会長）					
7/18 (土)	開演 14:00 (開場 13:30) 奈良フィルサロンコンサート vol.131 音楽の土曜日 ～ヴァイオリン・チェロ・ピアノによる 夏の名曲コンサート～	レセプションホール 全席自由	2,000円 <ドリンク付>	発売中 <input checked="" type="checkbox"/>	×
出演：袴田さやか（ヴァイオリン）、半田ひろ美（チェロ）、姫野真紀（ピアノ） 曲目：ピアノトリオ第1番Op.49／メンデルスゾーン、ピアノとヴァイオリンのためのソナタ／フランク、ボレロ／ラヴェルほか					
7/24 (金)	開演 13:00 (開場 12:30) 第10回 青少年吹奏楽コンサート	大ホール 全席自由	入場無料	—	○
市内の5中学と郡山高校、法隆寺国際高校が出演予定。ダイナミックで多彩な演奏をお楽しみください。					
8/1 (土)	開演 14:00 (開場 13:30) 親と子の管弦楽コンサート 京フィルといっしょ うたって！おどって！楽しいね！ 音楽物語「うみのがくたい」 ～ぼくと私と京フィルでつづる すてきなおはなし～ (朗読で参加してくれる子どもさんを募集しています)	大ホール 全席指定	おとな 2,000円 こども 1,000円 (1歳～小学生) ※0歳無料、ただし席が必要な場合は有料	発売中 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> e <sup>+</sup>	○
10/23 (金)	開演 19:00 (開場 18:30) 浦嶋左織 ジャズコンサート ～やまと郡山城ホール“NEXT”シリーズ vol.2～	小ホール 全席指定	5,000円 (当日5,500円)	発売中 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> e <sup>+</sup>	×
奈良県出身、ジャズ界の若手実力派シンデレラガールが世界に向けて羽ばたく。 出演：浦嶋左織、ビッグツリー					

※チケット欄の記号=発売場所 ：やまと郡山城ホール窓口 ：チケットぴあ ：ローソンチケット  e<sup>+</sup>：イープラス



## やまと郡山城ホール内レストラン「カステッロ」(☎ 55-5586)

7月1日(水)～8月31日(月)は、21時まで営業時間を延長！(ホール休館日は休み)



※20時オーダーストップ、17時からは、ビアホール利用もできます。



### 市長てくてく城下町 125

## 金魚も子どもも生き生きと

大和郡山市 上田 善

今年の春もまた、わが家に金魚の子どもが誕生。  
もともと金魚すくい大会でもらってきた金魚が成長し、毎年産卵をするようになったのです。

金魚は丈夫な生きもので、うまく飼えば10年あるいはそれ以上生きるとか。しかし金魚すくい大会の終了後、よく聞こえる会話が、

子ども「金魚飼いたいなあ」

親「ダメ！すぐに死んじゃうでしょ！」・・・。

昨年開催した金魚サミットで、伝統産業を活性化するためには金魚を飼う文化を復活する取り組みが必要ではないかという話が出ました。

これをきっかけに、この7月から『金魚マイスター養成塾』を開くことになったのですが、30人の募集枠が受付け開始40分で満杯に。

金魚の魅力と人気を再認識した次第です。

マイスターはドイツ語で名人のことですが、元気な金魚マイスターの誕生が楽しみです。

一方、5月23・24日、関西国際空港で開催された「旅博(たびはく)」に本市が今年初めて参加し、地元の野菜とともに、金魚の魅力をアピールしました。(2ページに関連記事)

その際、金魚の飼い方や水槽の選び方、注文の仕方など、具体的でわかりやすい案内や説明がいかに大切なあらためて実感したところです。

一方、これは人間の「子育ち」の話。この夏、地方創生に関する国の補正予算を活用し、子どもたちに本を購入してもらうため5,000円の商品券を配付することになりました。(市内に住民登録がある小・中学生が対象。7月15日に発送予定)(12ページに関連記事)

推薦図書のリストも添えますが、ただ「本を読みなさい！」ではなく、こんな本がある、あの本が面白かったという、生き生きとした会話が少しでも広がればと期待をしています。